

要望された成分のスイッチ OTC 化の妥当性に係る検討会議結果について

1. 要望内容

要望番号	H29-12	要望者	個人以外
要 望 内 容	成分名	ポリカルボフィルカルシウム	
	効能・効果	下痢、便秘、下痢・便秘の繰り返し	

2. 検討会議結果

OTC とすることの可否	可
OTC とする際の留意事項・ その他検討会議における 議論	<p>○効能・効果は既に承認されている一般用医薬品の過敏性腸症候群の再発症状改善薬と同様とすること。</p> <p>○長期に漫然と服用されることがないように、薬剤師が説明するとともに、2週間服用して、症状がよくならない場合は服用を中止し、受診勧奨する旨の情報提供を行うこと。</p> <p>○セルフチェックシートは、医師と薬剤師が連携して、時代に合わせて、内容を充実化していくことが大事である。また、セルフチェックシートが適正に活用されていることが重要である。</p> <p>○セルフチェックシートの内容に関して以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 片方の列に全部チェックを入れると、自動的に服薬可能になってしまいうような様式は避けること・ 服用の対象者である再発症状に限定できるよう、チェック項目を検討すること・ 服薬してはいけない人に投薬されないよう、チェック項目を検討すること <p>○また、セルフチェックシートに記載が望まれる項目をまとめて第9回の検討会議で報告することとされた。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000577384.pdf</p>